



鶴岡市立朝陽第二小学校  
学校だより No.8  
令和5年11月30日  
TEL 22-7755  
【朝二小教育の心】  
「好きにする よさを伸ばす」

学校教育目標 「たくましく思いやりのある子どもの育成」

# 9年ぶりの大龍小学校訪問

本来ならば、3年前の令和2年度に大龍小学校を訪問するはずでしたが、未曾有の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行のため、9年ぶりの大龍小学校訪問となりました。

11月1日から4日までの訪問で改めて朝二小と大龍小の姉妹校交流の意味と意義を学び感じました。

## ☆感無量の出会い☆

城山展望台のおみやげ屋さんの前で偶然お声がけくださった女性は、大龍小学校の卒業生で、なんとその方は、朝二小の校歌が歌えるとおっしゃり、その場で歌って下さいました。歌詞もメロディもまさに朝陽第二小学校の校歌です。たいへん驚きました。訪問団の朝二小卒業の阿部 PTA 会長も大龍小学校の校歌を歌詞を見ずに歌えます。この半世紀を超える大龍小学校と朝陽第二小学校の交流の歴史を感じる感無量の出会いとなりました。

## ☆全校あげての大歓迎☆

1日目、待ちに待った大龍小学校訪問。校庭ではたくさんの児童のお出迎え。そこに並びきれない児童は2階、3階の窓からも歓迎の旗を振ってくれていました。その旗には朝陽第二小学校の校章が描かれており、盛大な歓迎とお心遣いに感動しました。

翌日の「朝二小訪問団校内歓迎会」でも、全校児童が体育館に集まり、本格的な花笠音頭の踊りと朝陽第二小学校の校歌を歌っての大歓迎。大龍小の4年生は、運動会で「花笠音頭」を踊り、朝二小の4年生は、天神祭りで「ロックンおはら節」を踊ります。また、朝二小でも大龍小の校歌を歌います。訪問団は数年に一度10名程なのですが、それぞれの地で、このような交流も続いているのだと感じ、心が熱くなりました。

また、訪問団の子ども達は6年生の学級で授業を受け、オンラインで朝二小と大龍小をつなぎ、自分の好きなことや得意なことなどを自己紹介し、ご当地クイズなどで交流しました。このようなオンラインの交流がどの学年でもできれば、交流が広がります。朝二小の一人ひとりが大龍小の子ども達とつながることもできるのです。ぜひ、そのような交流もしてみたいと考えました。

## ☆郷中教育☆

薩摩藩独自の教育方法「郷中教育」が、多くの偉人傑士を輩出し、明治維新の最も有力な推進力となったことを学びました。郷中というのは今でいうと町内会のような小さな自治組織で、その郷中では6歳から24歳までの青少年が先生の家集まり、学年の枠を越えて同じ学舎で勉強していました。そこでは先輩が先生から学んだことを後輩に教え、後輩は先輩から教わったことを、また自分の後輩に教えていくというシステムでした。郷中教育の精神は、「負けるな」「嘘をいうな」「弱いものいじめをするな」の3つ。今の鹿児島でもこの教えが大事にされているそうです。「弱いものいじめをするな」の精神が、「徳の交わり」にもつながるのです。教育は、人づくりなのだ改めて感じました。維新ふるさと館の館長さんが、子ども達に「今の日本を創る礎となった先人の思いを学び、君たちがこれからの日本を創ってほしい」という内容のお話をなさり、鹿児島の方々の未来にかける熱い思いを感じました。

西郷南州翁の遺徳を慕い、その教え「敬愛」の取り持つ縁で55年前に結ばれた姉妹校盟約。これからも、持続可能な形で両校の交流を続けていきたいという思いを大龍小学校長原口先生と共有することができた訪問となりました。この訪問を支えていただいたすべての皆様に改めて御礼申し上げます。

(文責：校長)

